

30周年を迎えて、記念行事

「教育シンポジウム」および

祝賀会を秋の総会に

にいがた県民教育研究所

にいがた県民教育研究所は、1983年設立、1984年12月創立総会以来、今年で30周年を迎えることができました。これまでの会員と関係者の皆様方の温かいご支援・ご協力に、所員一同心から感謝申し上げます。この30周年を記念して、研究所として2つの行事を企画しました。

1 30周年記念シンポジウム

その一つは、「今日の歴史認識問題の本質を考える」をテーマに、去る6月22日(日)新潟市総合福祉会館にて、「30周年記念シンポジウム」を実施いたしました。

◆基調報告1 藤野豊さん(敬和学園大学教授)

「尖閣諸島、慰安婦、竹島問題などを

グローバルに見る」

◆基調報告2 何為 民さん(敬和学園大学特任准教授)

「なぜ今中国は海洋進出戦略を打ち出したのか」

その後、会場からの質問や歴史問題に対する意見交換を行いました。

2 第31回総会と同日に30周年記念祝賀会

第31回にいがた県民教育研究所総会を10月5日(日)午前に、午後には祝賀会を会場はどちらも「東急イン」(新潟駅前)に予定しています。

祝賀会のアトラクションには「雅楽」の演奏を計画しました。雅楽演奏は、笙・箏・篳篥・龍笛で最低必要な3人の奏者を長岡と東京から招きます。生の雅楽演奏は滅多に接する機会がないと思います。上田正昭さん(京大名誉教授・歴史学)は、雅楽は「生ける正倉院」と言っています。シルクロードやベトナムや朝鮮からの舞や曲が唐で総合されて華ひらき、今も日本のみに生きています。

演奏は次の通り。

演奏曲：越天楽こてんらく 五常楽ごようらく 陪臈はいりやく

演奏者：笙 吉田栄一 箏 吉田久美子

龍笛りゆうてい 齊藤義宏

祝賀懇親会は、30周年を振り返り、これからの展望したいと思います。会費は6000円をお願いします。飲み物も御馳走も十分にご用意いたします。ぜひ大勢の方においでいただきたく存じます。